

# 歯つらつ

2017年12月

261号

～発行所～

齋藤歯科診療所  
由利本荘市美倉町 47-1

フシヨイハニ

0120-24-4182

FAX 0184-24-1440

www.saitoshika.net

～診療時間～

曜日:月曜日～土曜日  
時間:午前 9:00～1:00  
午後 2:00～6:00

～休診日～

日曜・祝日  
第2・4木曜日

当院でイーマックスシステムを導入し、2年が経とうとしています。イーマックスとは、歯に被せる冠を作るシステムの一つで、今では審美補綴治療の主流となっているオールセラミック材料です。

最近では、より天然歯の美しさに近づける為、様々な着色剤や、作製方法などが紹介され、審美性を求める患者様の要望に近づけられるようになってきました。イーマックスの特長は、①自然な仕上がりで美しい ②従来のセラミックの約4倍の強度がある ③変色しにくく汚れが付きにくい ④支台歯との接着性が優れている ⑤金属を使用しないため金属アレルギーの心配が無い

## e-max セラミック素材の補綴物

⑥金属が溶け出して歯ぐきが黒くならない ⑦咬み合う天然歯をすり減らさない ⑧などがあります。

保険外診療の為、保険診療よりも費用がかかります。しかし、金属が見えないので口元全体が美しく仕上がります。笑顔や相手に与える印象も良くなるので、審美性と実用性を求める方には適した材料と言えます。

患者様にイーマックスをお勧めするのであれば自分で体験してみようと思ひ、私自身も当院で治療して頂きました。実際に自分で作製し、前歯に装着しています。

以前は保険で作製した被せ物を前歯に装着しており、時

間と共に茶色っぽく変色してきたり、すり減ったり、金属を使用しているため臭いも気になっていました。

しかし、装着したその日から、まるで自分の歯がよみがえったかのような感覚になった事を覚えています。また咬んだ感じも金属とは違う感触の良さがあります。着色、プラークの付着もほとんどなく、逆に隣の天然歯に付く着色が目立つほどです。見た目も作り物を入れているという感じ



## 休診日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
12月					1	2
3 休診	4	5	6	7	8	9
10 休診	11	12	13	14 休診	15	16 午後 休診
17 休診	18	19	20	21	22	23 休診
24	25	26	27	28 休診	29	30 午後 休診
31						

【年末年始の休診日】

12月30日(土)午後

1月4日(木)まで

年始めは1月5日(金)より通常通り診療致します。患者様にはご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願ひ致します。

今年も大変お世話になりました。良い年末年始をお過ごし下さい。また、来年も皆様にとって良い年でありませうに。

は無く、とても自然に口腔内になじんでいます。これから被せ物の治療を予定されている方で、イーマックスに興味を持たれた方は、お気軽にご相談下さい。

— 高橋 —

## 勤労感謝で園児来院

11月20日の朝、今年もひかり保育園の園児たちが来院してくれました。

「いつもお仕事ご苦労さまです」と、元気なあいさつとともに鮮やかなシクラメンと手作りの小物を頂きました。出入り口の棚などに展示しておりますので、是非ご覧になって下さい。ひかり保育園の園児の皆さん、ありがとうございます。

— 高原 —



## フロス 使い方と注意

毎日のブラッシングの中で、歯ブラシだけでなく補助用具を使用している方もいらっしゃるかと思います。今回は補助用具の中のひとつデンタルフロスについてご説明します。

むし歯や歯周病の多くは、歯と歯の間から起こります。フロスは、その歯と歯の間のプラーク（歯垢）を清掃する細い糸で、歯ブラシだけでは落とせない狭

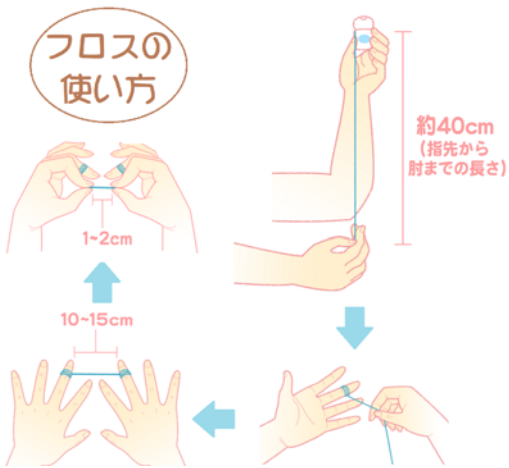
い隙間に使用します。

### 【フロスの使い方】

フロスを約40cm程の長さに切り片側を左手中指に2〜3回巻きつけ両手の間隔が10〜15cmになるように右手中指に残りの部分はずれないように巻きつけます。両手の親指と人差し指でピンとはります。歯にひっかけないようにして上下に数回動かして、歯の側面を清掃します。

抜く時はゆっくりと抜きます。うまく抜けない場合は無理にひ

つばらず片方の指からフロスを外し、前から引き抜きましょう。



糸が引っかかったり切れたりしやすい場合は、歯と歯の間にむし歯がある恐れがあります。

衛生上、毎回新しいものを使用し、慣れるまでは鏡で確認しながらゆっくりと動かし

ます。フロスを使って歯ブラシでは届かない歯の側面についてプラークや、歯と歯の間に入り込んだ食べかすをきれいに取り除き、きれいで健康な歯を保ちましょう。

フロスを使用してみたい方は当院スタッフに気軽にお声掛け下さい。— 三浦(博) —

